

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	913.40	2022/6/27
High	939.77	2022/6/29
Low	867.79	2022/7/1
Close	891.50	2022/7/1

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3967.00	2022/6/27
High	4122.00	2022/6/29
Low	3771.00	2022/7/1
Close	3874.00	2022/7/1

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1884.97	2022/6/27
High	2020.57	2022/6/29
Low	1867.00	2022/6/29
Close	1963.00	2022/7/1

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8190.00	2022/6/27
High	8871.00	2022/6/29
Low	8137.00	2022/6/28
Close	8532.00	2022/7/1



ニュースエクスプレス

南ア最大のファンドマネジャーがプラチナ会社買収劇の鍵を握る

インバラ・プラチナムは、8ヶ月に及んでいる買収劇に決着をつけるには、南アフリカ最大のファンドマネジャーが保有しているRoyal Bafokeng Platinum Ltd (RBPlat) の株について決定を下さなければならないとしている。

ブルームバーグのデータによると、南アフリカの Public Investment Corp. (PIC) は、RBPlat の株式9.9%を保有している。インバラ・プラチナムのCEO、Nico Muller氏は、インバラのオファー（一株150 ランド(9.30ドル)）について検討する十分な時間があつたはずで、Public Investment Corp の決定が両社の今後の方向を見極めていく上で必要だと述べた。

インバラがRBPlat を買収する計画は、ライバル会社のノーザム・プラチナムも同様の動きに出たことで邪魔が入った形となっていたが、PICの動向がはっきりしないことで投資家の間に不安が出てきており、両社が戦略的な決定を下せないまま時間が過ぎているとも述べた。

「情報は全て公開済みだ。彼らは相談できる関係者には意見を聞き、どんな調査も満足させられる厳密な審査を行なった。一刻も早く立場を明確にすべきだ。」と、Muller氏はヨハネスブルグでのインタビューで述べた。

焦点になっているには、インバラが所有するルステンブルグ近くの鉱山群に近いRBPlat が保有する資産で、ライバルのノーザムが昨年11月にRBPlat の大株主から過半数の株を突然買い取った経緯がある。それ以来、インバラは所有するRBPlat 株を 37.8%に増やしたが、35%未満の株を保有するノーザムが買収を妨害しようとしているため、反トラスト法下の承認を受けて買収を完了するのに遅れが出ている。

<https://www.mining.com/web/top-african-fund-manager-is-key-to-platinum-takeover-battle/>

米国のプラチナ宝飾品需要、2022年は幸先の良いスタート

サプライチェーンの遅れや、ロシアとウクライナの戦争による経済的な不安にもかかわらず、今年の米国内のプラチナ宝飾品販売は幸先の良いスタートを切っている。

プラチナ・ギルド・インターナショナル (PGI) の最新の『Platinum Jewellery Business Review』によると、第1四半期のPGIの米国パートナー各社のプラチナ宝飾品販売は前年比で 23 %の増加。

PGIによるとブライダル宝飾品と宝石付きのファッションジュエリーの第1四半期の売上は前年の同じ時期と比べて二桁成長、ダイヤモンドのファッションジュエリーも同様に二桁の増加だった。

また、PGI のブランドコレクション、「Platinum Born」も第1四半期に倍増した。米国の第1四半期のGDP は、企業の在庫投資、輸出、政府の支出の減少を反映して、前期比年率マイナス 1.5 %となったにもかかわらず、プラチナ宝飾品販売は、このような好調な出だしとなっている。

さらに、3月は全ての分野で前年比過去最高の8.5 %のインフレともなっている。株式市場は3月中に上昇したが、第1四半期の最終日に下落した。

<https://www.nationaljeweler.com/articles/11037-u-s-platinum-jewelry-demand-starts-2022-on-a-strong-note>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 燃料電池自動車ゼロエミッションの電動モビリティと言えるのは、プラチナベースの固体高分子形燃料電池のおかげ。グリーン水素が燃料ならば全く炭素を発生しない移動手段となり、固体高分子形燃料電池を利用することで、運輸、建設、鉱山などの分野に限らず、あらゆる産業の脱炭素化が可能となる。詳しくはプラチナ豆知識「変化に向けた運転開始」(2022年6月22日)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/06/29>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。